

地域おこし協力隊高木和真さんが退任します

立谷沢に住み、立谷沢で働いた3年間

雪に埋もれる庄内町へ移住してから4回目の冬を迎え、3年間の任期を満了し、地域おこし協力隊としての活動を終えることになりました。これまで、立谷沢川流域の農林水産物を使った6次産業化のサポートや「タチラボ」の管理運営といった事業を中心に、6次産業化の実現や地域に人を呼び込む仕組みづくりを目標として活動を続けてきました。



▲みーばあのしその実つくだ煮

自ら立ち上げた企画としては「メイドイン庄内町プロジェクト」が印象的です。外部講師や協力隊による指導のもと、加工食品に関するセミナーや個別指導を行い、受講者さんの商品開発をサポートしました。完成品は厳冬期の生産者さんにとって大事な収入を生み出す商品や、中山間地域で暮らしながら収入を得られる新たな産業となり、次年度も続く事業となりました。

同プロジェクトで「みーばあのしその実つくだ煮」を開発した立谷沢地域の女性グループ「タチラボレディース」のみなさんは自分たちで栽培まで手掛けるようになり、自らの手で生産し、製造して、販売するという6次産業化を実現されました。

また、立谷沢地域の住民として3年間に渡って暮らしたことは、他では得難い経験でした。豊かな自然とあたたかい人たちに囲まれて暮らす楽しさは、実際に住んでみなければ知ることはなかったと思います。地域の方にとっては当たり前の日常ですが、外から来た人間にとってはきっと魅力的で、今後このような暮らしを求める人も増えるのではないのでしょうか。

私は退任後も引き続き庄内町で暮らしていくつもりです。また、来年度には私の後任としてタチラボに新しく地域おこし協力隊が着任する予定になっています。地域おこし協力隊はこれからもみなさまのお力になれるよう活動していきますので、よろしくお願いいたします。3年間大変お世話になりました。ありがとうございました。



平成31年2月1日から本町地域おこし協力隊として、立谷沢地域における6次産業化システムの構築と同地区のブランド化に携わった高木和真さんが、3年間の任期を終え退任することになりました。情報発信力抜群な高木さん。SNSを巧みに使い、町の暮らしなどを発信し本町を知ってもらおうきっかけをつくってくださいました。高木さん、ありがとうございました。

新型コロナウイルスワクチン接種情報

3回目ワクチン接種についての案内・接種券などは、1月中旬から対象となる方に順次発送します。ワクチン接種の予約は、2月上旬からコールセンターおよび町公式LINEで開始予定です。

●コールセンター開設日：2/1(火)～ ☎0120-414-170

■問合せ：保健福祉課健康推進係 ☎0234-42-0148

発熱等の症状があり、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザが疑われるときは…

- ① かかりつけ医に電話相談 >>> ② かかりつけ医がない、夜間休日は「新型コロナ受診相談センター☎0120-88-0006」に相談